

テーマ別パスファインダー



分野別レポート入門

言語編



✦ パスファインダーとは？

Pathfinder（パスファインダー）とは、探検者／草分け／開拓者の意。レポート作成や論文作成で、何をすればいいのか、どこへ行けばいいのかわからない！そんな人のための助けになるように作成した、学問の「道しるべ」です。

作成日：2020年1月15日
大阪大学 外国学図書館 | 箕面キャンパス |
ラーニングcommons るくす | LSチーム

I. 言語系レポートの特徴

＜ 言語系レポートの特徴

言語系レポートは、主に、言語学の研究で扱われる次の3分野について書くレポートです。

①音（音声学・音韻論）、②意味（意味論・語用論）、③形（形態論・統語論）

★あくまでも目安としての分け方なので、きれいに線引きすることができません。

★みなさんの授業・レポート課題はどの分野に当てはまりますか？

＜ どのような観点から分析したらいいでしょう？

機能主義？ 生成文法？ 認知言語学？ 対照研究？ 類型論？

語用論の代表的な理論？ 問題点を指摘し、データを用いて検証する？

……

★授業でどのようなテーマを扱っているのか復習しましょう。

II. 言語系レポートを書くための第一歩

＜ レポートの構成サンプル

はじめに（序論）

- ・このテーマに至るまでの経緯
- ・論述の対象、論述の目的、主張、自分で立てた問い、解決すべき課題など

先行研究の紹介と、先行研究の問題点の指摘

- ・ある先行研究の紹介と問題点の指摘、を複数繰り返してもかまいませんし、
- ・複数の先行研究を紹介した上で、共通する問題を指摘するのもかまいません。

本論

- ・ある理論やモデルを道具として「問いへの答え」「課題の解決案」を示しても良いですし、
- ・先行研究に対して、「データ」を用いて（見つけ出して）反論しても良いです。

★絶対的に正しい方法・理論はありません。

★問いと答えに整合性があるか、解決案は課題に対応できているのか、データが反論の論拠として妥当か等、論証が論理的になっているかどうか重要です！（論証の点検はLSにも相談できます。）

結論

- ・「はじめに（序論）」に書いた「問い・課題」に対応した「答え・解決策」を書けるかどうかチェックしましょう。

参考文献リスト

- ・五十音順かアルファベット順のどちらかに統一しましょう。
- ・言語別に書いても良いでしょう。
- ・ページ数があれば明示しましょう。

III. 言語系レポートにおける「データ」とは何か？

コーパス、友達との会話、家族との雑談、テレビ、字幕、映画、本、論文、論文の参考文献のタイトル、エッセイ、学習者との会話、学習者の誤用、教科書の記述、新聞記事、録音・録画、授業中の会話、準備中の疑問、同僚教師とのやり取り etc...

★最近「コーパス」の利用がトレンドになっています。

★自分が言語学者であることを常に心がけ、おもしろそうなものがあれば直ちにメモを取りましょう。

★音声学・音韻論研究者の中には、常にテレビの録音・録画を行なっている方もいるようです。

IV. おすすめの専門著書

今井邦彦（2001）『語用論への招待』大修館書店

川原繁人（2015）『音とことばのふしぎな世界：メイド声から英語の達人まで』岩波書店

川原繁人（2017）『「あ」は「い」より大きい!?: 音象徴で学ぶ音声学入門』ひつじ書房

木下直子・中川千恵子（2019）『ひとりでも学べる日本語の発音：OJAD で調べて Praat で確かめよう』ひつじ書房

金田一春彦（1988）『日本語』（上・下）岩波新書

・専門著書だけど読みやすい。

・文庫本なので持ちやすい。

久野暲・高見健一（2006）『日本語機能的構文研究』大修館書店

窪園晴夫（1998）『音声学・音韻論』西光義弘（編）『日英語対照による 英語学演習シリーズ1』くろしお出版

寺村秀夫（他）（編）（1987）『ケーススタディ日本文法』桜楓社

✧ [パスファインダーの凡例]

✧ 図書情報は以下の順に表記しています。(主に論文の参考文献に使われている書式です。)
著者名 (出版年) 『本の名前』 出版社名, 翻訳者名 (あれば)

✧ 説明の最後に、【 】で貸し出し可能な図書館と配架場所、請求記号を記しました。

総合図 → 総合図書館 (豊中キャンパス)

生命図 → 生命科学図書館 (吹田キャンパス)

理工学図 → 理工学図書館 (吹田キャンパス)

人図 → 人間科学研究科図書室 (吹田キャンパス)

外国図 → 外国学図書館 (箕面キャンパス)

外国図-雑誌 → 直近1~2年に出版されたものは3階雑誌コーナー、バックナンバーは1階書庫

電 → 電子ジャーナル、電子ブック

※雑誌、電子ジャーナルは、すべての巻号が利用できるとは限りません。

✧ 検索を容易にするために、ISBN (各図書固有の識別番号) や ISSN (各雑誌固有の識別番号) を記している場合もあります。

✧ 外国学図書館を中心に紹介していますので、記載している場所以外でも貸し出し可能な場合があります。図書館各階にある検索端末で確認するか、カウンター/LS デスクまでお尋ねください。